

CDP2020 スコアリング イントロダクション

2020ウェビナー
CDP事務局

CDPのスコアリング

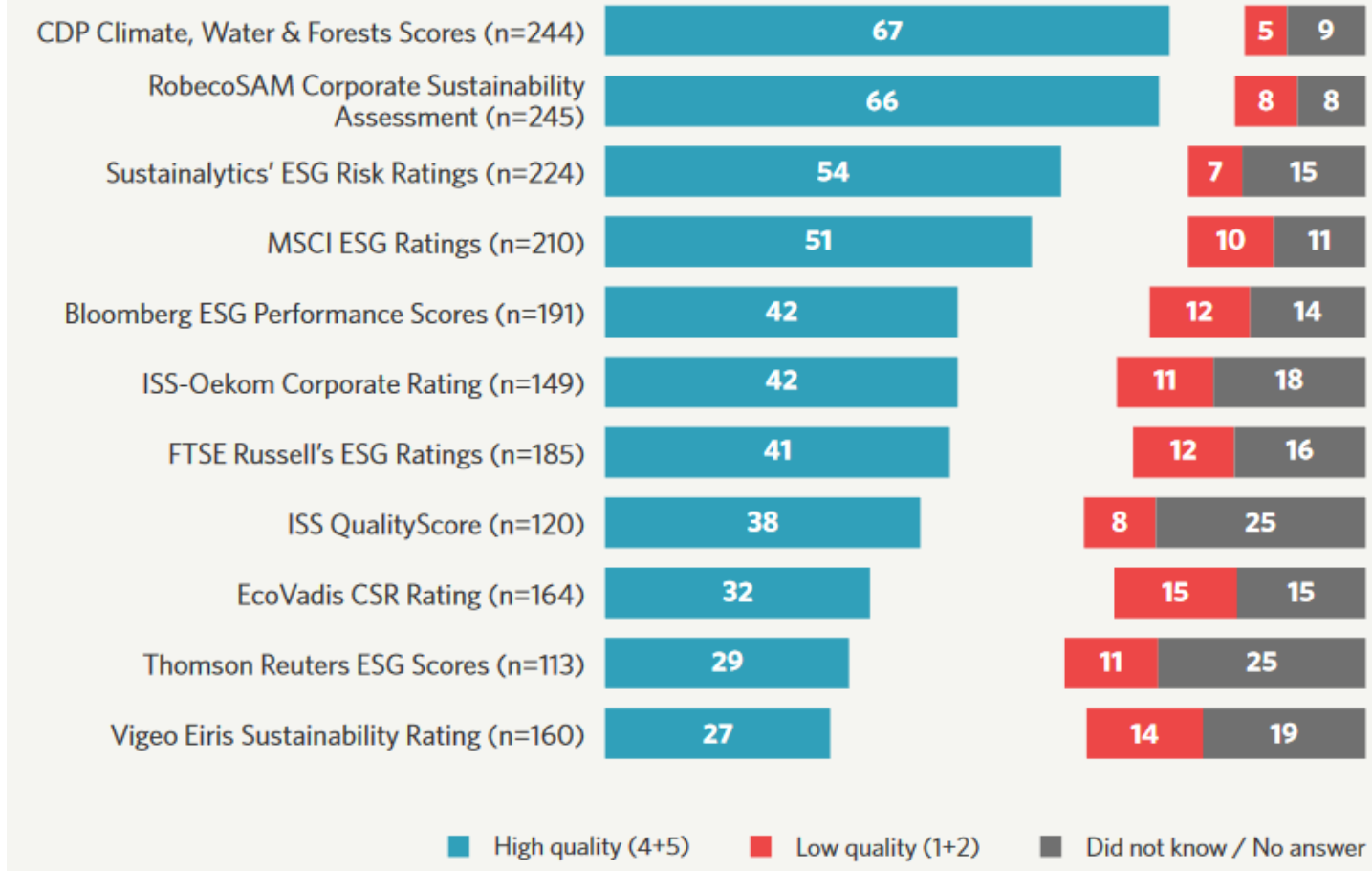


- ▼ **独立性:** スコアリングは、CDPからトレーニングを受けた第三者機関（スコアリング・パートナー）によって実施されます。パートナーによって採点されたスコアは、厳しいチェック（クオリティ・アシュアランス）を受けた後、発表されます。
- ▼ **比較可能性:** CDPのスコアリング手法は、どの国の企業にとっても同等に適用されます。したがって、どの企業も同様に重要なアクションを示し、同じ情報を求められます。
- ▼ **透明性:** 回答ガイダンスやスコアリング手法はオンライン上で公開しています。またウェビナーやワークショップ等でも内容を説明しています。
- ▼ **広範性:** 2018年、8994回答分のスコアを算出しました。
- ▼ **影響力:** 公表されたスコアは、CDPウェブサイトやレポートのほか、クイックやブルームバーグの株価情報端末やグーグルファイナンス、ドイツ証券取引所などにも掲載されており、機関投資家にも共有されています。

CDPのスコアリングー外部からの評価



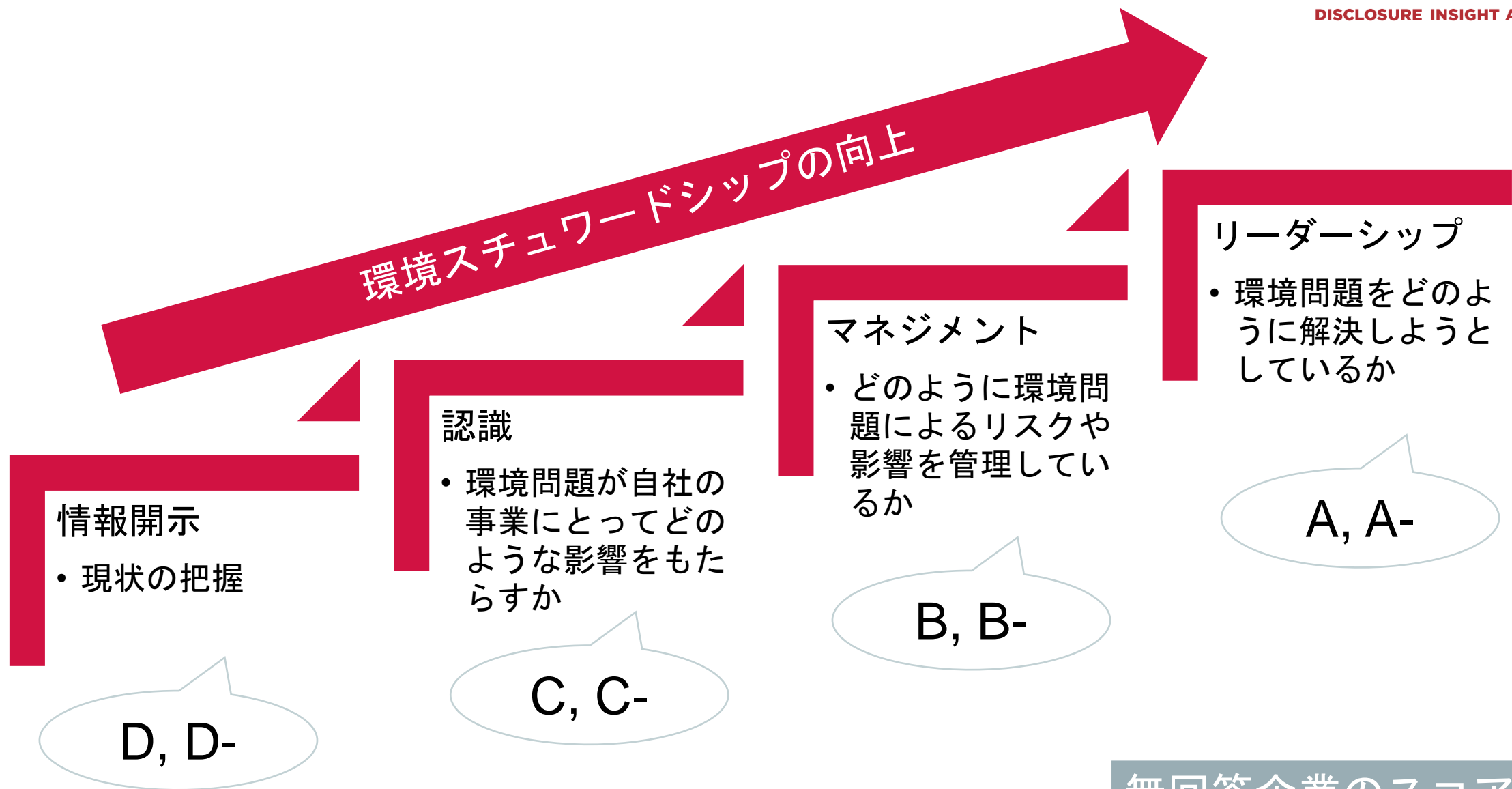
2018: ESG ratings quality, bars indicate percentage of respondents selecting each quality score



「さまざまなESG評価の中で最も質の高い評価手法である」

“Rate the Raters 2019”, SustainAbility, <https://sustainability.com/our-work/reports/rate-raters-2019/>

CDPスコアの意味



CDPスコアの意味



情報開示レベル (D、D-)

- ▼ 回答の完全性を示す
- ▼ データの信頼性と品質の向上を推進
- ▼ 質問書に回答する準備ができているが、ステewardシップに向けた努力は成熟していない

認識レベル (C、C-)

- ▼ 事業で環境問題の影響を考慮していることを示す
- ▼ 開示による透明性を高めるところから進んで、環境問題に関する認識を深めている段階

CDPスコアの意味



マネジメントレベル (B、B-)

- ▼環境リスクやその影響に対するアクションをとっていることを示す
- ▼環境リスクやその影響をトラッキングし、緩和したりなくしたりしようとしている

リーダーシップレベル (A、A-)

- ▼環境問題の管理においてベストプラクティスを行っていることを示す
- ▼環境問題について自社の事業に沿った理解をしており、その認識や実行したアクションについて説明できている

Aスコアの企業は、Aリスト企業＝優秀企業として特別に認定されます。

スコアリング手法



▼各質問に、情報開示・認識・マネジメント・リーダーシップの各レベルの配点が設定されています。

例：C1.1a 取締役会における気候関連問題の責任者の職位をお答えください。

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ [職位]欄で選択肢から選択している⇒1点 ・ [説明してください]欄詳細を説明している⇒1点 	<p>該当する人物について、[職位]、[説明してください]の両方の欄を回答している⇒1点</p>	<p><u>情報開示レベルが満点でなければマネジメントポイントは与えられない。</u></p> <p>[説明してください]欄の説明内容が、選択した[職位]の内容と矛盾していない、かつ個人の責任がどのように気候問題と関連しているかを説明⇒2点</p>	<p><u>マネジメントレベルが満点でなければリーダーシップポイントは与えられない。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役会議長、CEO等、特定の職位を選択⇒1点 <p>(上記の1点が付与されたうえで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該個人によって行われた気候問題に関する意思決定の事例を最低一つ記載している⇒1点
配点合計	2点	1点	2点	2点

スコアリング手法

▼情報開示・認識スコア

全質問の得点合計／全質問の配点合計 × 100 (%)

▼マネジメント・リーダーシップスコア

$\Sigma \{ \text{質問カテゴリーごとの得点合計} / \text{配点合計} \times \text{質問カテゴリーのウェイト} \times 100 (\%) \}$

スコアリング手法

▼マネジメントスコアの算出例

ガバナンス カテゴリー	マネジメント 得点	マネジメント 配点	ウェイト
CC1.1	0	0	11%
CC1.1a	2	2	
CC1.1b	1	1	
CC1.1c	0	0	
CC1.2	1	3	
CC1.2a	1	2	
CC1.3	1	1	
CC1.3a	1	2	

↓
得点合計
=7

↓
配点合計
=11

ガバナンスカテゴリーの
マネジメントスコア
 $= 7/11 \times 100 = 63.6(\%)$

ウェイトを考慮した
ガバナンスカテゴリーの
マネジメントスコア
 $= 63.6(\%) \times 11(\%) = 7(\%)$

質問書全体の
マネジメントスコア
=ウェイトを考慮した各カ
テゴリーのスコアの合計

スコアリング手法



▼情報開示・認識・マネジメント・リーダーシップのスコアを算出し、各レベルの閾値に従って最終スコアが決定されます。

	閾値（例）	最終スコア
情報開示	0 - 44%	D-
	45 - 79%	D
認識	0 - 44%	C-
	45 - 79%	C
マネジメント	0 - 44%	B-
	45 - 79%	B
リーダーシップ	0 - 79%	A-
	80 - 100%	A

【例】

情報開示=82%
認識=65%
マネジメント=30%
リーダーシップ=20%の場合、
最終スコアはC

2020年の閾値は現在検討中です。（4月末時点）
決定次第、スコアリングイントロダクションの文書でお知らせします。

セクター質問書のスコアリング



- ▼ 気候変動、水セキュリティ、森林減少といった環境問題の影響が大きいセクターに該当する企業にはセクター別の質問が設定されており、セクター別のスコアリング基準、カテゴリーウェイトが設定されています。
- ▼ どのセクター別質問に該当するかは、企業がどのセクター（CDPのセクター分類に基づく）に属しているかによって決まります。

気候変動		水セキュリティ	フォレスト
<ul style="list-style-type: none"> 農産品 食料・飲料・タバコ 製紙・林業 石炭 電力 石油・ガス セメント 化学 金属・鉱業 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄鋼 輸送機器製造 (OEM) 輸送機器製造 (エンジン部品) 輸送サービス 不動産 建設 資本財 金融サービス <p style="text-align: right;">} 新規追加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食料・飲料・タバコ 電力 石油・ガス 化学 金属・鉱業 	<ul style="list-style-type: none"> 石炭 金属・鉱業 製紙・林業 <p>※石炭、金属・鉱業はセクター別のスコアリング基準なし</p>

Aリスト要件



スコアが高得点で、気候変動や水問題、森林減少によるリスクを緩和するためのベストプラクティスとして認められる企業をAリスト企業に認定しています。

【Aリスト認定プロセス・要件】

1. スコアがAレベルの閾値をクリアしている
2. 各プログラムごとの条件を満たしている（次ページ参照）
3. 回答を公表している
4. RepRiskによる評判リスク問題のチェックをクリアしている
5. CDPスコアリングチーム、各国オフィスのチェックをクリアしている
6. CDPスコアリング運営委員会の最終承認

Aリスト要件

【各プログラムのAリスト要件】

気候変動

- 重要な範囲を報告除外対象に含めていない(C6.4, C6.4a)
- スコープ1および2総排出量のそれぞれについて70%以上の第三者検証を受けている (C10.1a、C10.1b)
- スコープ1および2総排出量を回答している(C6.1、C6.3)

水セキュリティ

- 重要な範囲を報告除外対象に含めていない(W0.6、W0.6a)

フォレスト

- 重要な範囲を報告除外対象に含めていない(F0.4, F0.5, F0.5a, F6.2a)
- 森林減少と森林劣化に関するコミットメントに対する行動をとっている

サプライヤーエンゲージメント評価（SER）



- ▼ 気候変動質問書のみ対象
- ▼ 2019年から、投資家質問書のみで回答する企業にも実施されます。
（顧客企業からの要請で回答するサプライチェーン質問書対象企業は、これまで通り引き続き評価が実施されます。）
- ▼ Aを獲得した企業のみ公表されます。A以外のスコアの企業は公表されませんが、フィードバックは行われます。

サプライヤーとの協働状況について評価し、ベストプラクティスを特定することで、全世界のサプライチェーンにおける排出削減に向けた取組みを加速するために購買企業のエンゲージメントを強化

CDPのスコアリング 注意点



- ▼スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみ基づいて実施されます。
⇒外部URLの参照、資料の添付（一部質問を除く）、他の回答欄を参照しなければならない回答等は評価には反映されません。

NG回答例

- ・「当社のリスク管理活動の詳細については、ウェブサイト（<http://www ~~~>）をご覧ください。」
- ・「詳細は質問〇〇への回答内容を参照のこと」

- ▼無回答欄が多い場合はスコアが低くなってしまいます。
 - **Please explain**や**Description**は必ず記入してください。
 - 数値記入欄において、空欄とゼロを回答することは意味が異なります。不明な場合は空欄のまま、把握していてゼロの場合はゼロと記入してください。
- ▼下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアが0になる質問があります。

CDPのスコアリング 注意点




(自由記述欄：自社固有／事例／ケーススタディ)



▼ 自社固有の (Company-specific) 回答が求められる場合

同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的な影響、自社の具体的な活動、固有の製品／サービス、について記載してください。

C2.3a 貴社の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性がある」と特定されたリスクを記入してください。(自社固有のリスクの内容欄)

不十分な回答例  0点	平均的な回答例  0点	良い回答例  得点
平均気温の上昇は、当社の事業に悪影響を及ぼす可能性があります。	平均気温の上昇により、空調や冷却設備に必要なエネルギー消費量が増加し、コストが上昇する恐れがあります。当社の店舗、事務所、流通センターでは、エネルギー消費量が増加するという特別なリスクがあります。	当社の工場の60%は、平均気温の大幅な上昇の影響を受けやすいとされている中央アメリカにあります。効率的に稼働を続けるためには、気温上昇によって空調および冷却設備に必要とされるエネルギー消費が15~20%増加すると考えられます。これにより、事業全体で運用コストが約20%増加します。

CDPのスコアリング 注意点

(自由記述欄：自社固有／事例／ケーススタディ)



▼ ケーススタディ (Case study) の記載

回答を裏付けるための具体的なケーススタディを提供することでポイントが与えられる質問があります。ケーススタディを記述する際には、以下に挙げる「Situation-Task-Action-Result (STAR)」アプローチに沿った記載を含めてください。

- 1) 状況 (Situation) : 現状や背景はどのようなものか
- 2) 課題 (Task) : 何をしなければならないのか／解決すべき課題は何か
- 3) 行動 (Action) : 実施した一連の行動はどのようなものか
- 4) 結果 (Result) : 行動した結果、最終的にどのような成果が得られたか

これらについて、**自社に固有の (Company-specific) 情報**、**具体的な時間と場所の情報**を含めて記述してください。

▼ 事例 (Example) の記載

上記のSTARアプローチに沿った記述は必要ありません。ケーススタディよりも簡潔に記載でき、いくつか自社固有の情報が含まれていれば望ましいと言えます。

CDPのスコアリング FAQ



▼ 回答言語（日本語／英語）でスコアに差がありますか？

⇒スコアに差はありませんが、海外の顧客企業から回答依頼を受けている場合は英語で回答してください。

日英併記の回答の場合、スコアリングは出来かねますのでご注意ください。
（日本語または英語のどちらかに統一してください）

Submit your response

- Before you submit, please check the pre-submission checklist in [Using CDP's Disclosure Platform - Companies](#) guide.
- Your choice of public or non-public submission impacts how CDP can handle your response and where it will be shared. Please refer to the [CDP's Disclosure Platform - Companies](#) guide for more information on the publication of scores.

* In which language are you submitting your response?

English

回答言語を正しく選択してください。

CDPのスコアリング FAQ



- ▼ 全ての質問に答えなければなりませんか？
⇒ 可能な質問のみ回答頂ければ結構です。
(ただし、無回答部分が少ない方が高評価になります。)
- ▼ 回答して低いスコアがつくよりは、無回答のままの方がよい？
⇒ たとえスコアが低くても、回答企業は無回答企業より高評価になります。
- ▼ セクター別の質問が自社の事業に該当していないように思われる
⇒ どのセクター別質問の対象になるかは、企業のセクター分類によって決まります。より適切なセクター分類に変更をご希望の場合は事務局までご相談ください。

CDPのスコアリングを理解するために



スコアリングの透明性を高めるため、すべてのスコアリングに関連する情報はウェブサイト上に掲載しており、日本語訳も作成しています。回答の際にご参照ください。
また各プログラムのウェビナーでもスコアリングに関連した情報をご案内しています。

CDP scoring methodologies



Climate change

Full version scoring methodology for companies disclosing to the 2020 climate change request (updated April 1, 2020)



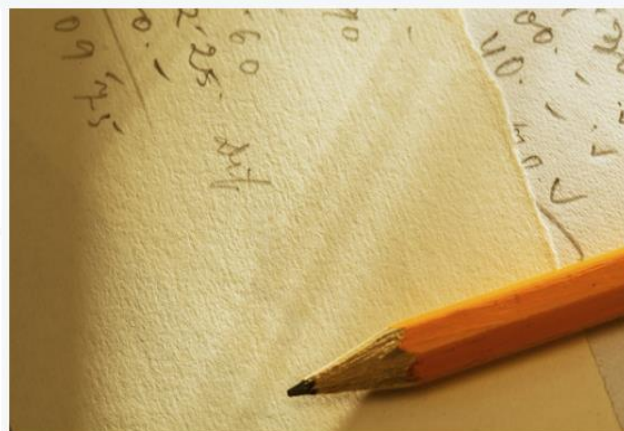
Forests

Full version scoring methodology for companies disclosing to the 2020 forests request (updated April 15, 2020)



Water security

Full version scoring methodology for companies disclosing to the 2020 water security request (updated April 17, 2020)



Scoring Introduction

An introduction to how scoring is applied to all of CDP questionnaires. (updated April 27, 2020)



- CDPスコアリング基準
（気候変動、水セキュリティ、フォレスト、SER）
- スコアリングイントロダクション
- SERイントロダクション
- スコアリングカテゴリーとウェイト
- 2019年からの変更点

※日本語版は日本企業のみなさまの理解を促進するために作成しておりますが、最新の状況を反映しきれていない可能性もあります。最新の情報については英語版をご確認ください。



CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



一般的なお問合せ : japan@cdp.net

サプライチェーンに関するお問合せ : supplychain.japan@cdp.net

レポーターサービスに関するお問合せ : reporterservices.japan@cdp.net